

神戸税関近郊 マップ

ウォーキング

近くには見どころが
たくさんあるよ！



フラワーロードと東遊園地・花時計前…表図①・②付近

フラワーロードは、明治初期まで生田川の水路でした。

神戸港開港3年後の1871年に加納宗七が生田川の付替え工事を行い、生田川を現在の位置に移し、旧水路を道路として整備しました。

フラワーロードと呼ばれる前は、税関線と呼ばれていたこともあるようです。

加納宗七の像

フラワーロード西側の東遊園地には、加納宗七のブロンズ像があり、その前には旧生田川をイメージした水路が造られていました。



安政の五カ国条約（神戸税関広報展示室）

神戸税関発祥の地碑…表図⑤

神戸税関は、1868年1月1日、神戸港開港とともに設置された運上所を前身とします。

1873年1月4日に神戸運上所を神戸税關と改称し、誕生しました。

開港とともに設置された運上所は、外国人居留地の東南、現在の神戸地方合同庁舎のある場所に建てられました。当時としては超モダンな和洋折衷の広壮大建物で、その窓に張られたガラス板は紙障子しか知らない人々をたいそう驚かせ「ビードロ屋敷」と呼ばれたそうです。

神戸税関発祥の地碑は、開港130年に当たる1997年に建立されました



フラワーロードのプランター
初代神戸税関庁舎とZEIKANSENのレフ

神戸税関本館庁舎…表図③

現在の神戸税関庁舎は、1999年に完成した3代目庁舎です。みなと神戸のランドマークとして、長く市民の皆様に親しまれてきた時計塔のある2代目庁舎を保全し、2代目庁舎に連続するかたちで新館を増築、船をイメージした庁舎に生まれ変わりました。2代目庁舎部分を旧館、増築部分を新館と呼んでいます。

旧館1階にある広報展示室には、「安政の五カ国条約」や運上所を改築した初代神戸税関庁舎の模型など開港にまつわる品物も展示しています。

神戸税關・KIITO前…表図④付近



昭和天皇行幸の碑
神戸税關敷地東側



日本一短い国道
174号線(187.1m)

(注) 文中の年月日は、西暦で表示しています。

商業貿易港として発展し続ける神戸港の歩みを物語る近代化産業遺産群



神戸港新港第1～3突堤



メリケン波止場



神戸税關



旧居留地煉瓦造下水道



海岸ビル



神港ビル



神戸朝日ビルディング



旧居留地15番館



神戸市立博物館



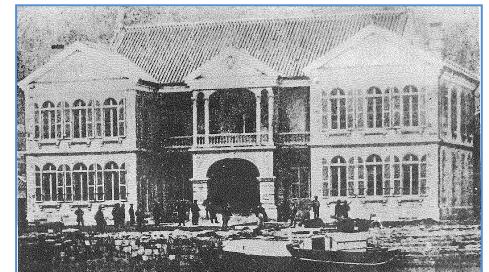
大丸神戸店南第1別館

神戸市立博物館…表図⑥

神戸市立博物館は、旧横浜正金銀行神戸支店として1935年に竣工したもので、近代化産業遺産に認定されています。

神戸市立博物館には、神戸港開港までの経過や開港後の外国人居留地の様子を知ることができる資料が常設展示されています。

外国人居留地を復元した模型には、初代神戸税関庁舎と倉庫も復元されていて、初代庁舎の写真も展示しております。



初代神戸税関庁舎の写真（神戸税關沿革略史）



史跡神戸事件発生地（三宮神社）

伊藤町…表図⑧

伊藤町という町名は、初代兵庫県知事伊藤俊輔（のちに博文）にあやかってつけられました。

伊藤俊輔（博文）が県知事であった当時は、現在の税関長にあたる運上所長官は県知事が兼務していました。したがって、伊藤俊輔は、1868年7月から翌年5月までの間、神戸運上所長官でもありました。



伊藤博文



税關イメージキャラクター
カスタム君



海軍操練所跡碑



網屋吉兵衛の顕彰碑

団体見学の申込み・問合せ

神戸税關広報室 Tel: 078-333-3028

E-Mail: kobe-koho@customs.go.jp

<http://www.customs.go.jp/kobe/>